

あつたの森を支援する会『やまどり』構想計画について

【これまでの経緯】

厚田区の自然を愛する仲間が集い、森林施業などの各種体験を通して、森林に対する関心を高め、区内の環境保全、森林の歴史などを子孫へ伝えながら森林を守り・山づくりに寄与し、森林・林業への認識を深めながら、山のすばらしさを多くの人たちと共有することを目的に平成20年3月当会が設立、厚田公園ゾーン内にある生活環境保全林区域内を活動拠点として、これまで事業展開(活動詳細は別紙)を進めてきております。

現在会員数は72名、これまでの活動は会員個人の機材を活用、事業実施を行ってきたところですが、新年度においては資機材購入に係る経費の一部を市より交付金として補助を受け、刈払い機やチェーンソーなど活動に必要な資機材を購入、会の目的達成に向けたさらなる活動の展開を図るべく具体的な構想を次のように定め、特色ある地域づくりを目指します。

	取り組みのねらい	事業予定箇所とその現状	構 想 ・ 計 画	今後必要となる視点
1	厚田の自然を肌で感じてもらい、山のすばらしさを多くの人たちと共有する	図面Bゾーン(24.9ha) 天然林、伐期齢に近いカラマツ及び15年生前後のアカエゾマツ等人工林箇所であり、散策路は笹草が繁茂し通行が困難	厚田公園ゾーン内にある生活環境保全区域内保安林の整備と、既存散策路の手入れを実施することで、公園を訪れた多くの人たちが気軽に森林浴を楽しんでもらえるような環境づくりを押し進める	厚田公園内、その周辺との一体的な取り組みを意識し、森林のすばらしさを活用しながら、地域振興に結びつける工夫が求められる
2	森林を守り・山づくりに寄与する	図面Aゾーン(4ha) 広葉樹の天然林及びアカエゾマツ等の13年生の人工林箇所であり、不良木・笹草が繁茂している	公園内市有林エリアの人工林保育作業の実施により、成育の助長を促し手をかけることで森林のすばらしさを創出し、環境の保全に努め、このことが区内市有林の保育作業の一端を築き、さらなる事業展開を導き出す	山と海との係り、森林整備の大切さとその効果を学ぶことで、取り組みの必要性を認識、理解することが必要
3	やまどりの活動を伝え・広め・知らしめる	資料室案内板枠の制作や公園内の木柵の補修、ベンチなどの制作	木材を有効活用しながら区内における公共施設等の整備(木柵・看板等の制作)を図ることで、やまどりの活動を伝え・広め知らしめるとともに、地域づくりに貢献する	不良木や除伐による木材を活かした物づくりを通して、地域づくりに寄与し、係りを深めることで地域に対する愛着を醸成し、自分達の活動から誇りと達成感や充実感を導き、得ることが必要